

や・い・は・ち トピックス

は
が

地域の絆きずなが守る、600年の伝統

波賀八幡神社チャコ踊り

8月19日(日)、波賀八幡神社(安賀)で開願祭が行われ、安賀・斉木・有賀・上野・飯見の5つの自治会の子どもたちがチャコ踊りを奉納しました。

600年前の室町時代から続く稚児踊りで、一時は止めていた時期がありました。宮司の小林盛司さんは「踊りは地域の大人たちが教えるが、小さい頃から踊りを見て育ってきた子どもたちはすぐに覚えられる」と、受け継がれてきた踊りの様子を語られます。

同様の踊りは、横山神社をはじめ、市内北部の各地に伝わっていますが、それぞれの踊り方やいわれがあります。これは地域ごとに代々、守り伝え



災害鎮静の願いを込めて氏神様に奉納されたと伝えられます…(波賀八幡神社)

られてきたという証でしょうか。

伝統の文化が、地域の人々の絆によって継承されていることに改めて気づかされました。

(波賀支部 平有利菜)

ち
くさ

みんなの働きたいを応援 六宝栄和

千種町黒土にある「六宝栄和」(内職受託業)代表 阿曾芳人(あそよしひと)さんは、平成24年2月からNPO法人はりま福祉会書写作業所の施設外就労支援事業所として障がいのある方の受入れをしています。

「ここを卒業して一般の企業で仕事ができるようになるのが目標です」と職業指導員の河津光重(かわづみつしげ)さん。

このように障がい者を応援する事業所が増え、もっと社会参加できる場が広がっていくことを期待します。

(千種支部 小原志のぶ)

るとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行っています。

利用者(ここ)で、内職の仕事をしたり、また月に2回は、書写作業所へ出かけて行き交流体験をしながら、将来社会に出て行けるよう訓練をしています。

千種町だけでなく市外からの利用者も少しずつ増え、「ここに毎日でも来たい」という利用者もあります。



割り箸の選別作業中

障害者手帳をお持ちの方の利用を受け付けています。お問合わせは、六宝栄和内NPO法人はりま福祉会 河津(76-3800)まで